

2010年3月期 第2四半期 決算説明会

NHKニッパツ
日本発条株式会社
2009年11月18日

当社の事業運営について

代表取締役副社長 長澤 國雄

当社の事業運営について

1. 我が社を取巻く環境
2. 今後の事業展開
3. 配当の考え方

1. 我が社を取巻く環境

- ・08年後半からの世界経済の大きな落込み。
- ・グローバルで自動車の大幅な減産。
- ・電子部品の在庫調整。

政府の景気対策から、回復の兆しが見られるが予断を許さない。

2. 今後の事業展開

～成長軌道への回帰～

- ・経営体質、製品、サービスの競争力強化
- ・グローバル成長戦略の実現
- ・企業価値の最大化
- ・CSR活動の積極的な推進

3. 配当の考え方

①配当の状況

09年3月期 中間7円 期末3.5円

10年3月期 中間3.5円 期末 未定

②期末配当の考え方

安定的な配当を基本に、今後の状況を見極めて判断したい。

決算の概要について

執行役員経理部長 瓜生誠二郎

決算の概要について

- ①2010年3月期第2四半期実績概要
- ②設備投資、減価償却費、研究開発費

第2四半期実績概要

(単位:億円)

	2008年度	2009年度	増減額	増減率
売上高	2,501	1,775	▲726	▲29.0%
営業利益	117	14	▲103	▲88.4%
経常利益	141	9	▲132	▲93.6%
当期利益	91	8	▲83	▲90.9%

第2四半期実績概要

(単位:億円)

	2008年 3月末	2009年 9月末	増減額	増減率
総資産	3,249	3,393	+144	+4.4%
自己資本	1,160	1,249	+89	+7.7%
有利子負債	861	794	▲67	▲7.8%

第2四半期実績概要

分野別	項目	2008年度	2009年度	増減額	増減率	(単位:億円)
懸架ばね	売上高	584	360	▲224	▲38.4%	
	営業利益	19	▲20	▲39	—	
	率	3.2%	—	—	—	
シート	売上高	969	689	▲280	▲29.9%	
	営業利益	33	4	▲29	▲87.6%	
	率	3.4%	0.6%	—	—	
精密部品	売上高	766	575	▲191	▲24.9%	
	営業利益	54	25	▲29	▲53.5%	
	率	7.1%	4.4%	—	—	
産業機器 ほか	売上高	182	151	▲31	▲16.9%	
	営業利益	11	5	▲6	▲54.4%	
	率	5.9%	3.3%	—	—	
合計	売上高	2,501	1,775	▲726	▲29.0%	
	営業利益	117	14	▲103	▲88.4%	
	率	4.7%	0.8%	—	—	

第2四半期実績概要

分野別	項目	2008年度	2009年度	増減額	増減率
日本	売上高	1,837	1,360	▲477	▲25.9%
	営業利益	59	▲2	▲61	—
	率	3.2%	—	—	—
北米	売上高	255	155	▲100	▲39.0%
	営業利益	4	▲4	▲8	—
	率	1.5%	—	—	—
アジア	売上高	487	328	▲159	▲32.6%
	営業利益	54	20	▲34	▲62.8%
	率	11.1%	6.1%	—	—
消去	売上高	▲78	▲68	+10	—
合計	売上高	2,501	1,775	▲726	▲29.0%
	営業利益	117	14	▲103	▲88.4%
	率	4.7%	0.8%	—	—

(単位:億円)

事業別・所在地（売上構成比）

項目	日本	北米	アジア	合計
懸架ばね	14%	3%	4%	21%
シート	32%	4%	3%	39%
精密部品	22%	—	8%	30%
産機ほか	10%	—	—	10%
合計	78%	7%	15%	100%

（参考値）

設備投資・減価償却費・研究開発費 **NHKニッパツ**

(単位:億円)

	2008年度 通期実績	2009年度 通期計画	2009年度 通期予想
設備投資	348	119	133
減価償却費	266	231	236
研究開発費	115	109	98

今期の見通しおよび 当面の課題と今後の対応について

執行役員経営企画部長 八代 隆二

1. 今期の見通し

- ①国内自動車生産台数前提について
- ②為替前提について
- ③北米事業について
- ④HDDサスペンション事業について

2. 当面の課題と今後の対応

①国内自動車生産台数通期前提について

(単位:万台)

	2009年度 上期	2009年度 下期	2009年度 通期
当初予想	398	484	882
今回予想	385	507	892
増減	▲13	+23	+10

②為替前提について

- 下期為替レート

90円/米ドル、2.7円/パーツ

- 為替感応度（営業利益への影響）

米ドル; 1円当たり 約3.7億円/年

パーツ; 0.1円当たり 約1.7億円/年

③北米事業について

- 北米での自動車生産の回復により、当初計画に対して売上増の見込み。
収益は08年度に続き黒字を予想。
- ニューメーサーメタルズ社は、オハイオ州トレド工場を、10年3月をめぐりに操業を停止し、ケンタッキー州フランクリン工場へ集約します。現在関係者と折衝中ですが、概ね計画通り進捗しています。

④HDDサスペンション事業について

・HDD需要見通し

08年実績	09年当初計画	09年予想
540百万台	467百万台	551百万台

・09年度サスペンション計画数量(百万個)

第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	予想 合計
157	212	214	232	815

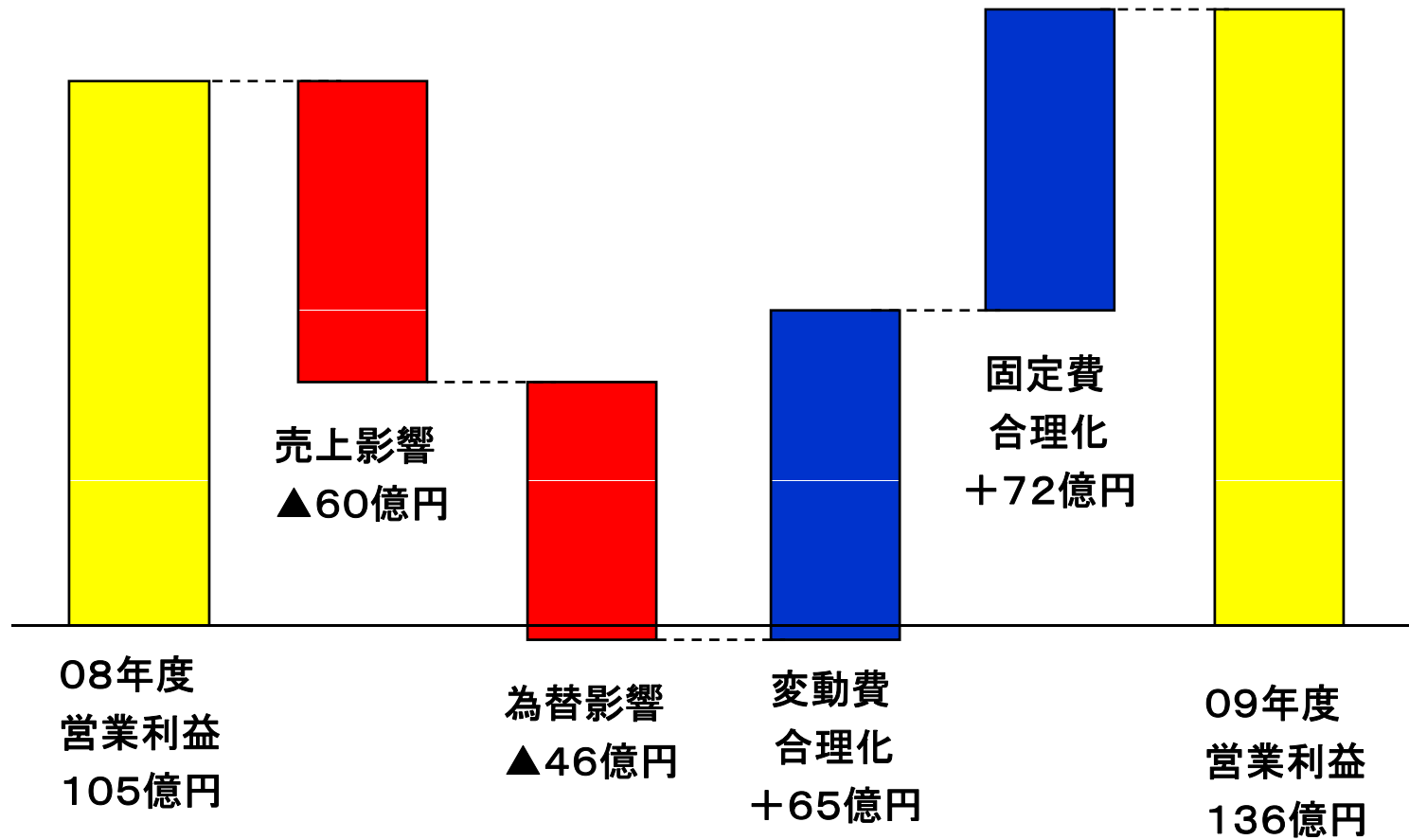
海外拠点は、暦年の四半期。

今期の見通し

(単位:億円)

	2008年度 通期実績	2009年度 通期予想	増減額	増減率
売上高	4,409	3,960	▲449	▲10.2%
営業利益	105	136	+31	+30.0%
経常利益	129	133	+4	+2.9%
当期利益	53	80	+27	+52.0%

営業利益の増減について



今期の見通し

(単位:億円)

分野別	項目	2008年度	2009年度	増減額	増減率
懸架ばね	売上高	1,012	810	▲202	▲20.0%
	営業利益	4	▲3	▲7	—
	率	0.3%	—	—	—
シート	売上高	1,699	1,580	▲119	▲7.0%
	営業利益	35	57	+22	+61.2%
	率	2.1%	3.6%	—	—
精密部品	売上高	1,324	1,280	▲44	▲3.3%
	営業利益	43	68	+25	+56.9%
	率	3.3%	5.3%	—	—
産業機器 ほか	売上高	374	290	▲84	▲22.5%
	営業利益	23	14	▲9	▲35.8%
	率	6.0%	5.0%	—	—
合計	売上高	4,409	3,960	▲449	▲10.2%
	営業利益	105	136	+31	+30.0%
	率	2.4%	3.4%	—	—

今期の見通し

(単位:億円)

分野別	項目	2008年度	2009年度	増減額	増減率
日本	売上高	3,164	2,940	▲224	▲7.1%
	営業利益	14	65	+51	+358.1%
	率	0.4%	2.2%	—	—
北米	売上高	460	350	▲110	▲23.9%
	営業利益	2	4	+2	+108.3%
	率	0.4%	1.1%	—	—
アジア	売上高	912	790	▲122	▲13.4%
	営業利益	89	67	▲22	▲24.3%
	率	9.7%	8.5%	—	—
消去	売上高	▲127	▲120	+7	—
合計	売上高	4,409	3,960	▲449	▲10.2%
	営業利益	105	136	+31	+30.0%
	率	2.4%	3.4%	—	—

①懸架ばね

[重要課題]

- ・収益の回復

[下期の重点課題]

- ・総原価の低減

[対策]

- ・生産ラインのタクト向上、無人化・省人化
- ・原単位の改善
- ・補材費、経費の圧縮

②シート

[重要課題]

- 業容拡大の基盤づくり

[下期の重点課題]

- 新規受注の拡大
- 競争力のあるシート骨格作り

[対策]

- 受注車種の内価企画の徹底
- グローバル最適生産体制の整備
- 軽量化次世代シート骨格の開発
- 品質の向上

③精密部品

〔重要課題〕

- ・HDDサスペンションのシェア拡大
- ・新製品・新事業の創出

〔下期の重点課題〕

- ・収益力の向上
- ・新規受注の拡大

〔対策〕

- ・グローバルでの効率的な生産体制の構築
- ・間接部門の生産性向上
- ・プロジェクト活動による合理化の推進
- ・開発から受注までスピードアップ
- ・半導体製造・検査装置関連の売上拡大

④産業機器ほか

[重要課題]

- ・事業規模の拡大

[下期の重点課題]

- ・新規受注の拡大

[対策]

- ・プラント配管支持装置関連事業の売上拡大

〔注記〕

業績見通しには、現時点での入手可能な情報と当社の今後の計画等の将来予測が含まれています。国内外の経済事情、為替レート等不確実な要因の状況変化によって、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。